

内海機械

輝け！経営者大賞受賞

「中四国一のスマート工場」へ



で実践、変革を行った事例を発表する。同会内に一三ある地区の代表を一次選考で三社に絞り、3月14日に開催された支部例会での三社による発表を経て選定した。

内海社長は同社で実践している5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の徹底など業務改善の事例や、一人何役もこなす「多能工」育成の取り組み、超短期期をアピールした企業イメージづくりなどを発表。工場の稼働率が一年間で30%アップしたことも紹介した。

工作機械部品製造の(株)内海機械（府中市鶴飼町七四三一）、内海和浩社長（写真上）はこのほど、広島県中小企業家同友会福山支部の「輝け！経営者大賞2017」で大賞を受賞した。



超短期納期品に特化した取り組みを進める同社。今後はIoT（モノのインターネット）など最新技術を駆使し「中四国地方でナンバーワン（内海社長）」と意気込む。

同大賞は会員が同会での学びを生かし、それぞれの企業

同社は1949年創業。内海社長は2007年に就任し、多能工の育成や超短期期化を進めるとともに、13年に同会に入会して学んだ成果を実践してきた。

5Sは「小さいことを積み重ね、コツコツと小さなロスから無くしていった」と話す。二つある工場や倉庫はどれも

整然としていて、工具類も置き場所が一目で分かるように社員が独自に工夫している。写真下。工場見学も広く受け入れる。

「学んだことを社会に還元し、地域の手本となるよう社員に意識させている。受賞に満足せず、さらに改善を進めると内海社長。」

福山への感謝を込めて市内の高齢者施設で同様の取り組みを行っている。

一〇〇人を超える女性入居者やデイサービス利用者らを対象に実施。夏物衣料を中心に、好みの衣料を一人二点までプレゼントした。お年寄りには会場に用意された服を手に取り、鏡でデザインを確認し



箕島町の特養で お年寄りに衣料品プレゼント

インデッ

衣料品製造 卸の(株)インデッ（福山市卸町八一三、荒井照三社長）は6月2日、社会福祉法人せとうち（蔵本久理事長）が運営する特別養護老人ホーム「ブレジュール箕島」（同市箕島町七五〇四―三）で、入居者や施設利用者から自社の衣料品をプレゼントした。

たり、同社の社員から似合う服を薦められたりしながら、楽しそうに選んでいた。写真の中、荒井社長は「当社は世の中のお母さん方に喜んでほしいと考えるながら仕事をしたい。ブレジュール利用者の皆さんにも、恩返しのできる気持ちでプレゼントをさせていただいた」と話した。

蔵本理事長は「入居者の方は外に出る機会が限られていて、買い物をするのも少ない。皆さんの楽しそうな顔は、まるで正月と盆が一緒に来たようだ」と喜んでた。